



平成27年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月1日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-5384-7780
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 平成27年8月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第2四半期の連結業績（平成26年12月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第2四半期	282,902	3.6	13,399	20.7	13,783	18.7	9,772	58.3
26年11月期第2四半期	272,981	5.2	11,105	△3.5	11,609	△6.0	6,173	△3.5

(注) 包括利益 27年11月期第2四半期 14,892百万円 (96.4%) 26年11月期第2四半期 7,584百万円 (△33.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第2四半期	64.38	—
26年11月期第2四半期	41.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第2四半期	372,378	236,650	55.3
26年11月期	356,994	220,397	54.6

(参考) 自己資本 27年11月期第2四半期 206,085百万円 26年11月期 195,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	11.50	—	11.50	23.00
27年11月期	—	12.50	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	13.50	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成27年11月期(予想)の期末配当金額につきましては、マヨネーズ発売90周年記念配当1円を含んでおります。

3. 平成27年11月期の連結業績予想（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	573,000	3.5	26,000	6.8	26,700	5.3	15,800	18.2	104.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期 2 Q	153,000,000 株	26年11月期	153,000,000 株
② 期末自己株式数	27年11月期 2 Q	1,230,878 株	26年11月期	1,132,849 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期 2 Q	151,796,149 株	26年11月期 2 Q	149,705,730 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
4. 補足情報	13
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	13
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	15
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）	15
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	15
(5) 営業外・特別損益の状況と主な増減内容	16
(6) 貸借対照表の状況と主な増減内容	16
(7) キャッシュ・フローの状況と主な増減内容	16
(8) 主要な経営指標等の推移	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高が継続する中、雇用環境や所得の改善が進み、個人消費の一部にも回復の兆しが見られました。

食品業界においては、食の安全・安心に関する話題が多く取り上げられるとともに、原資材価格の上昇などによる商品の値上げも進みました。

食品物流業界においては、人手・車両不足による運送コストの上昇などが継続しました。

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループ全体で挑戦する風土を醸成し、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長を遂げるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、国内でのイノベーション、海外への本格展開、将来への布石）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

・売上高

調味料事業やサラダ・惣菜事業、物流システム事業などの好調や、加工食品事業におけるアヲハタ株式会社の連結子会社化により、2,829億2百万円と前年同期に比べ99億21百万円（3.6%）の増収となりました。

・利益

タマゴ商品の価格改定や物流システム事業のコスト改善、海外展開の伸張により、営業利益は133億99百万円と前年同期に比べ22億94百万円（20.7%）、経常利益は137億83百万円と前年同期に比べ21億74百万円（18.7%）の増益となりました。

四半期純利益は、アヲハタ株式会社の連結子会社化による特別利益19億48百万円などにより、97億72百万円と前年同期に比べ35億99百万円（58.3%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	76,112	77,247	1,135	1.5%
タマゴ	49,353	50,808	1,455	2.9%
サラダ・惣菜	49,735	52,501	2,766	5.6%
加工食品	28,599	30,847	2,248	7.9%
ファインケミカル	5,149	5,508	359	7.0%
物流システム	61,242	63,113	1,871	3.1%
共通	2,790	2,875	85	3.0%
合計	272,981	282,902	9,921	3.6%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	5,876	6,479	603	10.3%
タマゴ	1,025	2,737	1,712	167.0%
サラダ・惣菜	1,469	1,061	△408	△27.8%
加工食品	155	203	48	31.0%
ファインケミカル	499	125	△374	△74.9%
物流システム	1,538	2,170	632	41.1%
共通	537	617	80	14.9%
調整額	3	4	1	33.3%
合計	11,105	13,399	2,294	20.7%

調味料

- ・海外での拡大が進むとともに、国内はドレッシングが堅調に推移し増収
- ・積極的な需要喚起で販売促進費は増加したが、原資材コストの減少や増収効果により増益

タマゴ

- ・前年高騰した鶏卵相場の安定は減収要因となったが、価格改定効果や付加価値品の伸張で増収
- ・国内鶏卵相場の安定や価格改定効果、付加価値品へのシフトにより増益

サラダ・惣菜

- ・宅配ルートなどの新販路への展開や生産体制の強化で、惣菜やカット野菜が伸張し増収
- ・コスト改善は進んだが、減価償却費の増加やCVS向け米飯の売上減少の影響により減益

加工食品

- ・連結子会社化したアヲハタ株式会社の売上増加や、調理ソース・育児食の伸張により増収
- ・連結子会社化の影響でコストは増加したが、増収効果や不採算商品の整理などにより増益

ファインケミカル

- ・医薬用EPAは伸び悩んだが、通信販売会社の連結子会社化やヒアルロン酸の好調により増収
- ・医薬用EPAの売上減少や通信販売会社の連結子会社化によるコスト増加で減益

物流システム

- ・既存顧客の受託エリア拡大や新規顧客の獲得などが進み増収
- ・増収効果に加え、運送機能の再構築などによるコスト改善が進み増益

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売増加により増収増益

(2) 財政状態に関する説明

◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,723億78百万円と前連結会計年度末に比べ153億84百万円増加
主に「有形固定資産」、「受取手形及び売掛金」の増加、「現金及び預金」の減少による
- ・負債は、1,357億28百万円と前連結会計年度末に比べ8億68百万円減少
主に「引当金」、「短期借入金」の増加、「その他」に含まれる未払費用、設備未払金の減少による
- ・純資産は、2,366億50百万円と前連結会計年度末に比べ162億53百万円増加
主に「利益剰余金」、「その他有価証券評価差額金」、「少数株主持分」の増加による

◇キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、322億89百万円と前連結会計年度末に比べ124億99百万円減少
- 各キャッシュ・フローの状況
 - 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、引当金、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払いなどにより105億96百万円の収入（前年同期は113億65百万円の収入）
 - 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより200億6百万円の支出（前年同期は184億75百万円の支出）
 - 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い、子会社の自己株式取得による支出などにより34億78百万円の支出（前年同期は4億26百万円の収入）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、主原料価格の変動や個人消費の変化など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われまます。

当社グループは、平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画の最終年度にあたり、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長をめざし、「国内でのイノベーション」と「海外への本格展開」を着実に進めてまいります。

国内においては、マヨネーズ発売90周年を記念した企画やマヨネーズの万能調味料化を進めるとともに、最適な生産体制の構築による効率化や増産への対応を進め、基幹領域を深耕してまいります。また、スーパーマーケットのチルド売場やネット販売、宅配ルートなど、新たな販路への展開に挑戦してまいります。

また、海外においては、中国や東南アジアの生産および営業の拠点を活用し、エリア特性に応じた展開によるアジアのマヨネーズ市場の拡大や、グループ資源の活用による世界的な外食チェーンとの取り組みなど、アジアでの本格展開を進めてまいります。

なお、本年1月8日に公表しました平成27年11月期の連結業績予想につきまして、売上高は変更ありませんが、営業利益は5億円増の260億円、経常利益は5億円増の267億円、当期純利益は5億円増の158億円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成26年12月1日をもって当社のパン周り商品販売事業をアヲハタ株式会社に会社分割したことにより当社はアヲハタ株式会社の株式を取得しました。その結果、第1四半期連結会計期間より、従来、持分法適用の範囲に含めていたアヲハタ株式会社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても退職給付の見込支払日までの平均期間に基づく割引率から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映した割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が47百万円減少し、退職給付に係る負債が460百万円増加するとともに、利益剰余金が320百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,815	27,342
受取手形及び売掛金	81,498	85,868
有価証券	10,000	5,000
商品及び製品	14,811	16,727
仕掛品	1,142	1,018
原材料及び貯蔵品	6,995	7,915
その他	5,533	10,701
貸倒引当金	△203	△242
流動資産合計	154,593	154,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	151,166	166,173
減価償却累計額	△86,759	△92,457
建物及び構築物（純額）	64,406	73,715
機械装置及び運搬具	142,058	151,882
減価償却累計額	△113,659	△118,308
機械装置及び運搬具（純額）	28,399	33,574
土地	46,109	47,821
建設仮勘定	7,144	2,960
その他	19,468	21,013
減価償却累計額	△11,977	△13,241
その他（純額）	7,491	7,772
有形固定資産合計	153,550	165,844
無形固定資産		
のれん	183	1,896
その他	3,204	3,408
無形固定資産合計	3,388	5,304
投資その他の資産		
投資有価証券	26,568	27,265
退職給付に係る資産	8,207	8,845
その他	11,226	11,318
貸倒引当金	△540	△532
投資その他の資産合計	45,462	46,896
固定資産合計	202,401	218,046
資産合計	356,994	372,378

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,775	55,102
短期借入金	7,859	9,642
未払法人税等	5,278	4,700
引当金	2,129	4,542
その他	37,054	29,999
流動負債合計	106,097	103,987
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	6,632	6,477
退職給付に係る負債	2,581	3,219
資産除去債務	653	737
その他	10,632	11,307
固定負債合計	30,499	31,741
負債合計	136,596	135,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	30,309	30,302
利益剰余金	142,489	150,195
自己株式	△1,150	△1,412
株主資本合計	195,752	203,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,902	8,382
繰延ヘッジ損益	4	△3
為替換算調整勘定	△1,234	△140
退職給付に係る調整累計額	△5,373	△5,343
その他の包括利益累計額合計	△701	2,895
少数株主持分	25,346	30,564
純資産合計	220,397	236,650
負債純資産合計	356,994	372,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
売上高	272,981	282,902
売上原価	208,293	211,612
売上総利益	64,688	71,290
販売費及び一般管理費	53,582	57,891
営業利益	11,105	13,399
営業外収益		
受取利息	90	62
受取配当金	203	238
持分法による投資利益	9	53
その他	520	415
営業外収益合計	823	769
営業外費用		
支払利息	142	158
その他	178	227
営業外費用合計	320	385
経常利益	11,609	13,783
特別利益		
持分変動利益	—	1,118
段階取得に係る差益	—	830
負ののれん発生益	—	105
固定資産売却益	48	99
その他	242	605
特別利益合計	291	2,759
特別損失		
固定資産除却損	421	627
関係会社出資金評価損	—	257
関係会社清算損失引当金繰入額	—	256
減損損失	—	71
その他	43	17
特別損失合計	464	1,231
税金等調整前四半期純利益	11,436	15,311
法人税等	4,235	4,388
少数株主損益調整前四半期純利益	7,200	10,923
少数株主利益	1,027	1,151
四半期純利益	6,173	9,772

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年12月1日 至平成26年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年12月1日 至平成27年5月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,200	10,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	2,577
繰延ヘッジ損益	△5	△7
為替換算調整勘定	575	1,392
退職給付に係る調整額	-	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	-
その他の包括利益合計	384	3,968
四半期包括利益	7,584	14,892
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,446	13,369
少数株主に係る四半期包括利益	1,137	1,522

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,436	15,311
減価償却費	7,639	8,956
減損損失	—	71
持分法による投資損益（△は益）	△9	△53
投資有価証券評価損益（△は益）	4	1
関係会社出資金評価損	—	257
引当金の増減額（△は減少）	1,677	2,275
負ののれん発生益	—	△105
段階取得に係る差損益（△は益）	—	△830
持分変動損益（△は益）	—	△1,118
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	260
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	—	△1,189
前払年金費用の増減額（△は増加）	△217	—
受取利息及び受取配当金	△293	△301
支払利息	142	158
固定資産除売却損益（△は益）	378	528
売上債権の増減額（△は増加）	△4,141	△351
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,644	△1,540
仕入債務の増減額（△は減少）	718	△2,066
その他	△2,185	△4,188
小計	13,505	16,074
利息及び配当金の受取額	311	361
利息の支払額	△143	△158
法人税等の支払額	△2,307	△5,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,365	10,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△5,000	△5,000
有価証券の償還による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△15,755	△19,595
無形固定資産の取得による支出	△242	△574
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	44
投資有価証券の取得による支出	△1,022	△32
関係会社株式の取得による支出	△2,184	—
子会社株式の売却による収入	432	—
関係会社株式の売却による収入	—	58
短期貸付金の純増減額（△は増加）	43	△222
長期貸付金の回収による収入	6	6
長期貸付けによる支出	△30	△14
定期預金の預入による支出	—	△93
定期預金の払戻による収入	—	70
その他	277	347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,475	△20,006

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	50	41
長期借入れによる収入	3,409	601
長期借入金の返済による支出	△401	△714
配当金の支払額	△1,647	△1,745
少数株主への配当金の支払額	△337	△260
自己株式の取得による支出	△1	△75
子会社の自己株式の取得による支出	—	△551
その他	△644	△773
財務活動によるキャッシュ・フロー	426	△3,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	210	389
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6,471	△12,499
現金及び現金同等物の期首残高	43,963	44,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,491	32,289

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年12月1日 至 平成26年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
売上高										
外部顧客への売上高	76,112	49,353	49,735	28,599	5,149	61,242	2,790	272,981	—	272,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,980	3,159	200	880	132	11,908	4,547	23,810	△23,810	—
計	79,092	52,512	49,935	29,480	5,282	73,151	7,337	296,792	△23,810	272,981
セグメント利益	5,876	1,025	1,469	155	499	1,538	537	11,102	3	11,105

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年12月1日 至 平成27年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
売上高										
外部顧客への売上高	77,247	50,808	52,501	30,847	5,508	63,113	2,875	282,902	—	282,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,417	2,955	130	1,281	157	12,134	4,785	24,863	△24,863	—
計	80,665	53,763	52,632	32,129	5,666	75,247	7,661	307,765	△24,863	282,902
セグメント利益	6,479	2,737	1,061	203	125	2,170	617	13,395	4	13,399

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「物流システム」セグメントで減損損失を71百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります((8) 主要な経営指標等の推移を除く)。
2. 本資料中の計画数値は、平成27年7月1日発表の数値を表示しております。

(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

【売上高】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
25年11月期	調味料	331	386	717	378	1,095	359	1,454
	タマゴ	218	223	441	222	663	248	912
	サラダ・惣菜	227	244	472	261	733	247	980
	加工食品	138	154	291	148	439	145	584
	ファインケミカル	23	22	45	23	68	29	97
	物流システム	284	299	584	311	895	309	1,203
	共通	28	17	45	14	59	17	76
	合計	1,249	1,345	2,595	1,357	3,951	1,354	5,305
26年11月期	調味料	359	402	761	386	1,147	367	1,515
	タマゴ	241	253	494	240	734	261	995
	サラダ・惣菜	242	255	497	268	765	257	1,022
	加工食品	136	150	286	141	427	145	572
	ファインケミカル	23	28	51	23	75	32	107
	物流システム	300	312	612	327	939	329	1,268
	共通	13	15	28	13	41	14	55
	合計	1,315	1,415	2,730	1,398	4,128	1,406	5,534
27年11月期	調味料	366	406	772				1,585
	タマゴ	246	262	508				1,030
	サラダ・惣菜	251	274	525				1,070
	加工食品	141	168	308				625
	ファインケミカル	24	31	55				125
	物流システム	312	319	631				1,240
	共通	15	14	29				55
	合計	1,356	1,473	2,829				5,730
前年差	調味料	7	4	11				70
	タマゴ	5	9	15				35
	サラダ・惣菜	9	18	28				48
	加工食品	4	18	22				53
	ファインケミカル	1	2	4				18
	物流システム	12	7	19				28
	共通	2	1	1				0
	合計	41	58	99				196

平成27年11月期通期は、平成27年7月1日発表の計画数値を表示しております。
第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

（単位：億円）

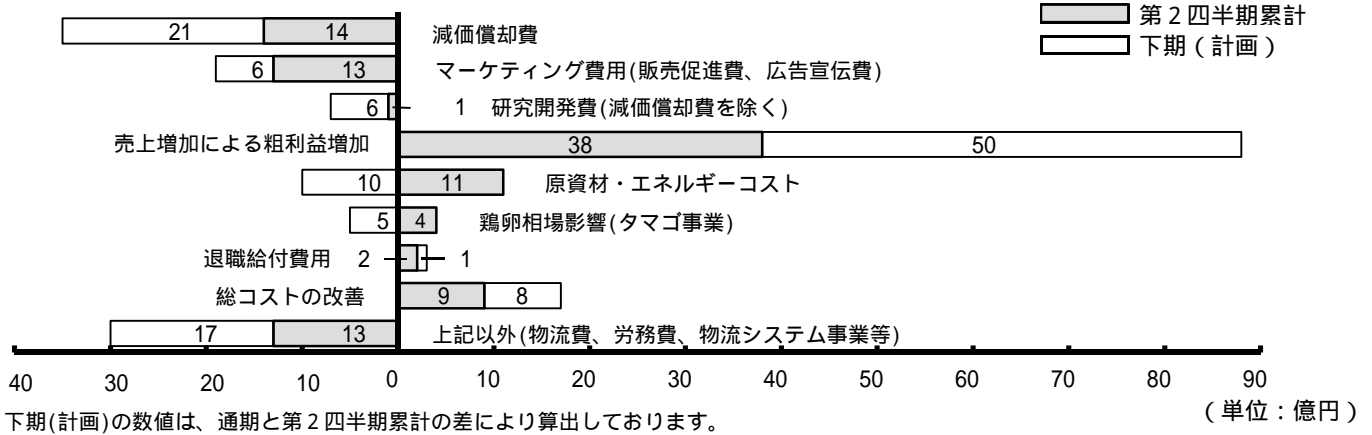
	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
25年11月期	調味料	23	40	63	29	92	23	115
	タマゴ	6	11	18	11	29	5	34
	サラダ・惣菜	4	10	14	13	27	7	35
	加工食品	4	0	4	1	5	4	9
	ファインケミカル	3	2	5	1	6	3	9
	物流システム	3	11	13	10	24	8	32
	共通	3	3	6	2	8	0	8
	合 計	39	76	115	66	181	43	224
26年11月期	調味料	23	36	59	33	91	24	115
	タマゴ	1	11	10	15	25	13	38
	サラダ・惣菜	4	11	15	11	26	7	33
	加工食品	1	2	2	1	3	1	2
	ファインケミカル	2	3	5	1	6	4	10
	物流システム	6	9	15	10	25	11	36
	共通	3	3	5	3	8	2	10
	合 計	36	75	111	73	184	59	243
27年11月期	調味料	26	39	65				126
	タマゴ	15	13	27				49
	サラダ・惣菜	3	8	11				30
	加工食品	2	4	2				2
	ファインケミカル	0	1	1				5
	物流システム	10	12	22				41
	共通	3	3	6				11
	合 計	55	79	134				260
前年差	調味料	3	3	6				11
	タマゴ	15	2	17				11
	サラダ・惣菜	1	3	4				3
	加工食品	1	1	0				4
	ファインケミカル	2	2	4				5
	物流システム	4	2	6				5
	共通	0	1	1				1
	合 計	19	4	23				17

平成27年11月期通期は、平成27年7月1日発表の計画数値を表示しております。
第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益の増減要因(前年差)】

(単位：億円)

	26年11月期	27年11月期	前年差
第2四半期累計	111	134	23
下期(計画)	132	126	6
通期	243	260	17



(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	25年11月期 第2四半期累計	26年11月期 第2四半期累計	27年11月期 第2四半期累計	25年11月期	26年11月期	27年11月期 計画
設備投資	148	163	205	271	301	412
減価償却費	68	76	90	146	161	196
販売促進費	97	101	112	205	214	225
広告宣伝費	42	41	43	79	80	88
物流費	148	157	164	305	320	332
労務費	123	130	140	254	265	287
研究開発費	17	18	19	37	39	46

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額(キユーピー株式会社)

		25年11月期 第2四半期累計	26年11月期 第2四半期累計	27年11月期 第2四半期累計	25年11月期	26年11月期
家庭用	販売量(千t)	65	64	63	128	125
	金額(億円)	377	387	388	754	761
業務用	販売量(千t)	53	53	53	107	105
	金額(億円)	203	210	208	415	418

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

(単位：億円)

	25年11月期 第2四半期累計	26年11月期 第2四半期累計	27年11月期 第2四半期累計	25年11月期	26年11月期	27年11月期 計画
海外 売上高	112	150	178	238	316	382
中国	34	50	66	81	110	147
東南アジア	24	31	41	52	64	85
北米	44	58	58	84	117	118
日本からの輸出等	10	11	14	21	26	32
海外 営業利益	4	10	18	12	28	33

海外子会社(中国、東南アジア、北米)の第2四半期累計の数値は、10月から3月を対象としております。

(5) 営業外・特別損益の状況と主な増減内容

(単位：億円)

	25年11月期 第2四半期累計	26年11月期 第2四半期累計	27年11月期 第2四半期累計	増減内容 (26年11月期 第2四半期累計対比)	25年11月期	26年11月期	27年11月期 計画
営業外 損益	8	5	4	デリバティブ評価損の増加 1	13	10	7
特別 損益	4	2	15	アラハタ(株)連結子会社化による 持分変動利益、段階取得に係る 差益の増加 +19	13	8	3

(6) 貸借対照表の状況と主な増減内容

(単位：億円)

	26年11月期	27年11月期 第2四半期	増減	増減内容(26年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,546	1,543	3	現預金の減少 74 売掛債権の増加 +44 有価証券の減少 50 短期貸付金の増加 +43
固定資産				
有形・無形固定資産	1,569	1,711	142	取得による増加 +175 減価償却による減少 90 アラハタ(株)連結子会社化による増加 +37
投資その他の資産	455	469	14	投資有価証券の増加 +7 退職給付に係る資産の増加 +6
(負債の部)				
	1,366	1,357	9	買掛債務の増加 +13 借入金の増加 +16 未払金の減少 43
(純資産の部)				
	2,204	2,367	163	利益剰余金の増加 +77 少数株主持分の増加 +52

(7) キャッシュ・フローの状況と主な増減内容

(単位：億円)

	25年11月期 第2四半期累計	26年11月期 第2四半期累計	27年11月期 第2四半期累計	増減内容 (26年11月期 第2四半期累計対比)	25年11月期	26年11月期
営業活動による キャッシュ・ フロー	86	114	106	税金等調整前四半期純利益の増加 +39 売上債権の減少 +38 仕入債務の減少 28 法人税等の支払額の増加 34	274	344
投資活動による キャッシュ・ フロー	115	185	200	有形固定資産、無形固定資産の 取得の増加 42 関係会社株式の取得による 支出の減少 +22	219	308
財務活動による キャッシュ・ フロー	7	4	35	借入金の減少 31 子会社の自己株式取得の増加 6	23	31

(8) 主要な経営指標等の推移

	25年11月期 第2四半期累計	26年11月期 第2四半期累計	27年11月期 第2四半期累計	25年11月期	26年11月期
売上高（百万円）	259,450	272,981	282,902	530,549	553,404
対前期増減率（％）	4.5	5.2	3.6	5.1	4.3
営業利益（百万円）	11,513	11,105	13,399	22,402	24,343
対前期増減率（％）	1.3	3.5	20.7	4.1	8.7
売上高営業利益率（％）	4.4	4.1	4.7	4.2	4.4
経常利益（百万円）	12,352	11,609	13,783	23,749	25,368
売上高経常利益率（％）	4.8	4.3	4.9	4.5	4.6
四半期(当期)純利益（百万円）	6,398	6,173	9,772	12,567	13,366
売上高四半期(当期)純利益率（％）	2.5	2.3	3.5	2.4	2.4
純資産額（百万円）	205,398	217,106	236,650	210,285	220,397
総資産額（百万円）	316,322	345,726	372,378	334,655	356,994
自己資本比率（％）	56.6	54.7	55.3	55.0	54.6
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	8,625	11,365	10,596	27,369	34,392
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	11,507	18,475	20,006	21,897	30,847
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	674	426	3,478	2,307	3,149
フリーキャッシュ・フロー （営業CF+投資CF）（百万円）	2,881	7,109	9,410	5,471	3,545
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高（百万円）	37,325	37,491	32,289	43,963	44,788
有利子負債（百万円）	24,945	29,056	30,622	25,882	29,110
1株当たり純資産額（円）	1,196.69	1,262.51	1,357.89	1,230.32	1,284.36
1株当たり四半期(当期)純利益（円）	42.74	41.24	64.38	83.94	88.69
1株当たりフリーキャッシュ・フロー（円）	19.25	47.49	61.99	36.55	23.52
1株当たり第2四半期(年間)配当額（円）	11.0	11.5	12.5	22.0	23.0
従業員数（人）	12,652	12,963	13,495	12,598	12,933
平均臨時雇用者数（人）	11,298	11,433	11,777	11,316	11,840
第2四半期末(期末)株価（円）	1,419	1,530	2,742	1,454	1,942